

鏡山学区自治連合会／京都市山科区役所 （近畿運輸局）

自治連合会からの積極的かつ多彩な取組により路線バスを復活させ、自家用車利用からバス利用者へ多くの住民を移行することに成功している。

取組内容・効果

■啓蒙看板やポスター掲示

- ・地域内の道路に啓発ポスター（地域の中学生在が制作）や啓発看板（地域内の書道家による）を掲示し、バスの乗車促進をアピール。バスの利用促進ロゴマークを作成し、ステッカーとして貼り付けている。

■小学校におけるバスの体験乗車

- ・H30年から地域小学校の「総合的な学習の時間」で身近なバスについて知ってもらう授業や体験乗車を実施。

■CO₂排出量削減への貢献

- ・MM事業を継続的に実施し、バスの利用客数を着実に増やし、CO₂排出量削減を年々増加させている。

■表彰実績

- ・H29年度交通関係環境保全優良事業者等局長表彰

■環境保全効果

- ・約17 t のCO₂削減※（自治会加入世帯数3,714世帯／山科区役所職員数204名

※すべてのバス利用者が自家用車利用からバス利用に転換したと仮定して算出。

評価ポイント

（１）創意工夫

- ・地域内広報として、学区のホームページを作成し、ホームページ内にこれらMM活動の報告を行うと共に、積極的に高齢ドライバーの免許返納を促し、移動手段の公共交通へのシフト化に努めている。

（２）CO₂排出量削減への貢献度

- ・1年間のCO₂削減量はH30年度よりも増え約17 t となる。（H31年3月調査結果は1便あたり26.95人）

（３）継続性

- ・バスのさらなる利便性の向上を図り、生活の足として定着させる目的で、あらゆる年齢層を対象としたMM事業を継続的に実施し、利用客数を着実に増やし、CO₂排出量削減を年々増やしている。

（４）一体性

- ・地域内で行われる催し物や会議など、地域の祭りや運動会・年末の餅つき大会等での演説アピールや啓発品（時刻表として利用できるびう、啓発文句が記された餅・箱・携帯ペンライト・置物等）を断続的に配付している。